

シェードガーデンの改修

造園緑化コース

1. はじめに

私は、この国際園芸アカデミーで2年間座学や実習を通して造園に関する知識や技術を身につけてきた。今回の卒業研究・卒業制作では私が学んできた経験を活かしたいと考え、シェードガーデンの改修をする。正面玄関の目の前にあるシェードガーデンは来校者の目に留まりやすい場所のため、気持ちよく迎え入れる空間にしたいと思う。

2. 現況

施工当時と樹木の種類は変わっていなかった。しかし、下草は施工当時植栽していた植物はほとんどなくなっており、ほかの下草が植栽されていた。枕木は腐食しており、穴が空いていた（写真-1、図-1）。

3. 改修の方針

シェードガーデンの図面と現状を照らし合わせた結果、樹木、下草、枕木の3つの方針をもとに11つに分けて改修を進めていく。

4. 改修内容

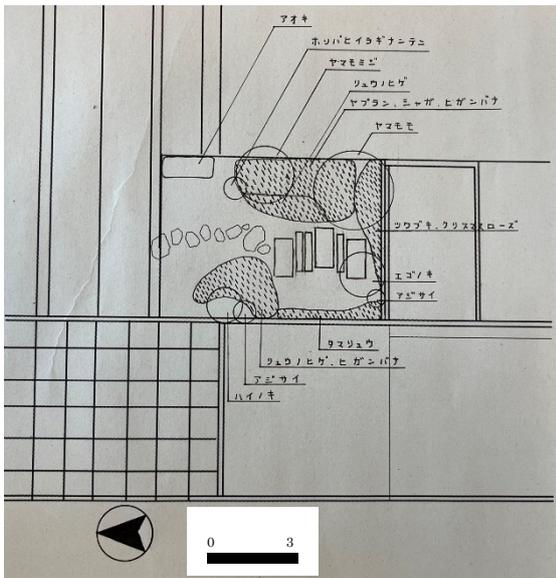
- (1) 巣箱の紐の取り換え：ヤマモモに取り付けられていた巣箱の紐を取り換えた。
- (2) 樹木・剪定：区画から飛び出している樹木、樹形が不格好で景観を崩している樹木、ほかの植物の成長を邪魔している枝を剪定した。
- (3) 樹木調査：弱っている樹木を調査した。
- (4) 枕木の撤去：腐食し穴が空いていたため、施工されていた枕木すべてを撤去した。
- (5) 下草の鉢上げ・抜き取り：色々な下草が混ざって植栽されていたため、選別し、鉢上げ・抜き取りを行った。
- (6) 実生木の抜き取り：景観に馴染んでいない実生木を抜き取った。
- (7) ツタの撤去：フェンスやほかの植物に絡まっているツタを撤去した。
- (8) 敷石の提案・施工：枕木のあった場所に敷石でデザインを考えた。最終案のデザインを施工した。
- (9) 植栽：空いたスペースに植栽を行う。植栽に使う植物はすべて鉢上げをしたものを使った。
- (10) 砂利の分別：2種類の砂利があったため分別を行った。
- (11) 砂利の洗浄：分別した砂利の汚れを落とし、きれいにした。



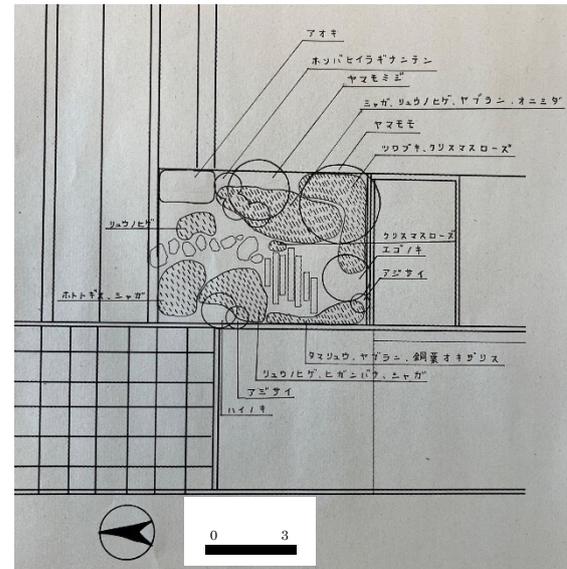
写真—1 改修前



写真—2 改修後



図—1 改修前



図—2 改修後

5. まとめ

今回はじめて自分で改修方針から施工までを行い、正面玄関の目の前にあるシェードガーデンを改修できたと感じる（写真—2、図—2）。

今までの実習は同級生との作業だったため仲間に頼ってしまう部分が何度もあった。しかし、今回1人で改修を行ったことで見つけることのできなかつた発見や課題を見つけていくことができた。1人ですべてを行うことは大変だったが、今までの座学や実習など身に付けてきた知識や技術を思い出しながら完成させることができた。

私は緑化事業の会社に就職することが決まっている。そこでは公園の修繕・改修を行うことがある。そのため、今回の卒業研究・卒業制作の作業は今後につながっていく部分が多くあると思う。今回行った卒業研究・卒業制作を思い出しながら就職先で活躍をしていきたい。